

## 第76回千葉県民スポーツ大会 冬季大会サッカー競技

### 1、競技運営上の注意事項

#### 2、選手の用具、運用緩和を一部適用による周知

## 1、競技運営上の注意事項

### 1) 競技場への到着

各郡市代表チームは、試合開始の60分前までに必ず試合会場に到着すること。

到着後、本部（競技運営委員）に連絡すること。

### 2) 会場準備及び片付け

第1試合のチームは会場準備を、最終試合のチームは会場撤収の手伝いをお願いします。

### 3) 試合開始60分前に運営本部前にて両チーム監督・審判員・本部役員によるミーティングを行います。

ミーティングの際、両チームのユニフォームの決定、諸注意事項の説明を行います。

### 4) ウォーミングアップについて（ハーフタイムも含む）

試合開始前のアップは会場内の指定された場所で行って下さい。

#### (1) ピッチ内アップ⇒人工芝（スポレクD）

・ピッチが空いている時間～試合開始15分前まで可

・ハーフタイム中のピッチ内アップ可

#### (2) ピッチ内アップ⇒天然芝（スポレクA、B、C）

・試合開始20分前より5分間。

・ハーフタイムのピッチ内アップ可

#### (3) 試合中のアップは指定されたアップエリアで行い、ボールの使用は不可とします。

### 5) メンバー提出用紙及び交代カードについて

① メンバー提出用紙は、（公社）千葉県サッカー協会 HP よりダウンロードして当日4部持参して下さい。

② 交代カードもダウンロードして必要枚数を持参して下さい。

### 6) メンバー提出用紙の記入

① メンバー提出用紙は、4部作成して下さい。

（本部、審判、相手チーム、自チーム用）

### 7) メンバー提出用紙の提出方法

・試合開始60分前に行われるミーティング終了直後に提出する。

- 8) チームベンチについて  
＜男子・女子共通＞
- ・チームベンチは、本部からピッチに向かって、左側がトーナメント表の上側のチーム、右側はトーナメント表の下側のチームが使用する。
  - ・決勝戦については、ピッチに向かって左側がトーナメント表の左側のチーム、ピッチに向かって右側がトーナメント表の右側のチームが使用する。
  - ・試合に登録できる役員は6名、選手は18名とする。  
：当日のベンチ入りできるメンバーは、当該試合に出場する選手および役員のみとする。  
(役員6名+選手18名⇒1チーム 最大24名)
  - ：観客及びサポーターは、観客席で観戦していただきます。  
(自チーム関係者に事前周知をお願いします)
- 9) 試合に出ていない選手(交代要員、交代で退いた選手)は、フィールド上の両チームユニフォームと明確に区別・判断できる色のビブスを着用すること。  
両チーム監督・スタッフ、競技運営委員は、ピッチ上の競技者と異なる色の服装を着用すること。
- 10) 交代の数  
競技会規定により、最大7人の交代要員を使えることが認められ、各チームは、
- ・最大5回の交代回数を使うことができる。
  - ・これに追加して、ハーフタイムにも交代することができる。
- 11) 試合球について  
試合球は、大会事務局が準備する。
- 12) アディショナルタイム表示について  
アディショナルタイムはボードにて表示する。
- 13) 施設利用上の注意事項  
：試合会場でのボール使用は、必ず指定された場所をお願いします。  
＜市原スポレク＞  
：クラブハウス内の更衣室使用については、当日連絡します。
- 14) その他  
：チーム代表者は、選手・役員健康管理に配慮をお願いします。  
：貴重品の管理・・・個人管理の徹底をお願いします。  
：ゴミ・・・・・・・・各チームで持ち帰りをお願いします。  
：後片付け・・・・・・・・試合終了後、玄関・更衣室(ロッカールーム)床面清掃をお願いします。

## 2、選手の用具・運用緩和を一部適用

冬季大会サッカー競技の寒冷対策に因應するため、選手の用具（ユニフォーム等）について運用緩和の一部適用を行なうこととする。

- 1) ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- 2) アンダーシャツの色は問わない。  
原則として、チーム内のフィールドプレーヤーは同色のものを着用する。  
但し、ゴールキーパーがユニフォームと同色のアンダーシャツを着用する場合は認める。
- 3) アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。  
原則として、チーム内のフィールドプレーヤーは同色のものを着用する。  
但し、ゴールキーパーがユニフォームと同色のアンダーショーツおよびタイツを着用する場合は認める。

## 3、その他

詳細については「大会要項」参照。

## 第76回千葉県民スポーツ大会冬季大会サッカー競技の脳震盪交代等に関する周知

1、脳震盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは下記とする。

※県民スポーツ大会指定脳震盪用交代カードを使い、手続するもの「脳震盪による交代（再交代なし）」の運用については、以下を参照すること。

脳震盪による交代には「脳震盪の疑い」も含まれる。

### ■運用方法1（運用）

#### （1）原則

- ① 1試合において各チーム最大1人の「脳震盪による交代」を使用できる。
- ② 「脳震盪による交代」はその前に何人の交代が行われているのかにかかわらず行うことができる。
- ③ 県民スポーツ大会は、交代要員7名・交代の最大数7名、交代回数5回とし、既に交代で退いた競技者が再出場することはできない。
- ④ 「脳震盪による交代で入る交代要員」が使われたならば、相手チームは、（脳震盪に限らず）いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができる。

#### （2）進め方

- ① 交代の進め方は、競技規則条文第3条・競技者にに基づき行われる。
- ② 「脳震盪による交代」は、次により行うことができる。
  - ・脳震盪を受傷した、またはその疑いが生じた直後に
  - ・フィールド上で診断、またはフィールド外での診断後に
  - ・競技者が、その時より前に受診を受け、競技のフィールドに戻った場合を含め、それ以外で脳震盪を受傷した。または疑われるときはいつでも
- ③ チームが「脳震盪による交代」を行うこととした場合、県民スポーツ大会指定の脳震盪交代カードまたは用紙を用いて主審/第4審判員に知らせる。
- ④ 脳震盪を起こした、またはその疑いがある競技者は、その試合の残り時間に出場することができない。  
また、できる限り、更衣室や医療施設に関係者に付き添われて行かなければならない。
- ⑤ 主審や第4の審判員は、相手チームに1人の「追加交代要員」と1回の「追加交代の回数」を使うことが出来ることを通知する。  
これは、「脳震盪による交代」を行うチームと同時でも、その後いつであっても使うことができる。

#### （3）交代の回数

- ① 「脳震盪による交代」は、「通常の交代」の回数の制限とは別に取り扱われる。

しかしながら、チームが「脳震盪による交代」を「通常の交代」に合わせて行った場合、1回の「通常の交代」としてカウントされる。

- ② チームが「通常の交代」の回数を全て使い切ってしまったならば、「通常の交代」のために「脳震盪による交代」の枠を使うことはできない。
- ③ チームが「脳震盪による交代」を行った場合、相手チームは1人の「追加の交代要員」を使うことができ、1回の「追加の交代」の機会を得る。  
この追加の交代回数は、「追加の交代要員」のためにのみ使うことができ、「通常の交代要員」には使うことができない。
- ④ 通常の交代がすべて完了しても、脳震盪の疑いで交代する可能性がある限り、アップゾーンでのアップは認める。  
ただし、脳震盪の疑いによる交代をした場合、すべての交代要員はベンチ内着席とする。

## 2、キャプテン マーク

- ・キャプテンは「キャプテン マーク（腕章）」を着用する。  
「キャプテン マーク（腕章）」は、「 C 」のマークが無いものを着用することができる。

## 3、キャプテン オンリー

- ・ガイドラインに従って実施する。

以上